

令和8年度 西淀中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

Ⅰ「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

Ⅰ 全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT=Computer Based Testing）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率 (%)		平均無解答率 (%)		平均IRTスコア 英語4技能 () 内は3技能 (参考)
			国語	数学	国語	数学	
3 年	学校	157	63	57	3.8	8.0	498 (495)
	大阪市	-	60	55	5.4	11.4	499 (499)
4月23日	全国	-	63.9	57.0	4.9	10.4	499 (499)

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

○全国学力・学習状況調査【3年生】

＜国語＞平均正答率は大阪市より3ポイント高い。「書くこと」は全国・大阪市平均より大きく上回っている。平均無解答率は低い。

＜数学＞平均正答率は大阪市より2ポイント高い。「数と式」「図形」「関数」の領域で全国・大阪市平均より上回っている。平均無解答率は低い。

＜英語＞平均IRTスコアは大阪市より1ポイント低い。IRTバンド3に属する生徒の割合は、全国・大阪市と比較して高い。

今後に向けて

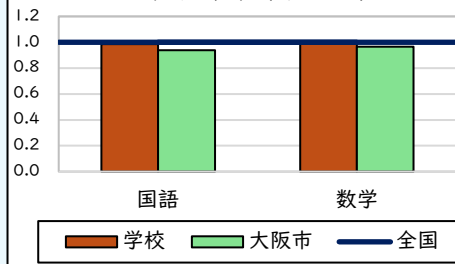
授業規律が守られた学習環境で、生徒の学力面において成果が出てきている。今後も授業規律を確保しつつ「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」「ICT活用」を進め、より一層の授業改善と充実を行い、生徒の学力向上に努める。また、授業や学級活動における生徒間での話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができるようにしていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査【3年生】 教科に関する調査結果の概要（国語・数学）

平均正答率（％）

	国語	数学
学校	63	57
大阪市	60	55
全国	63.9	57.0

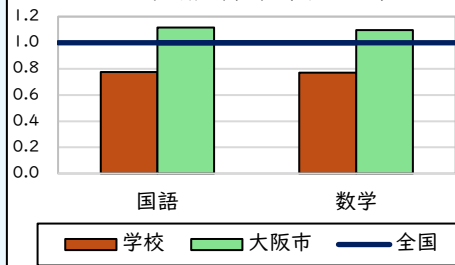
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	数学
学校	3.8	8.0
大阪市	5.4	11.4
全国	4.9	10.4

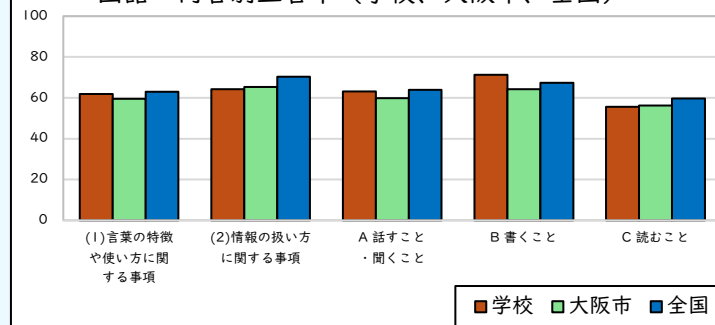
平均無解答率（対全国比）



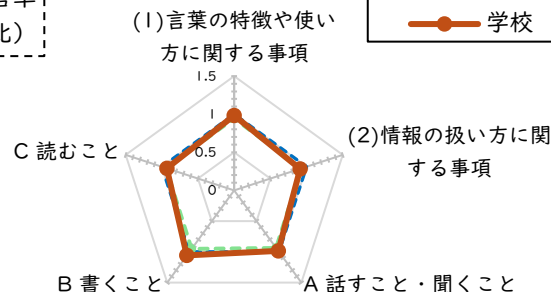
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	61.9	59.5	63.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	64.2	65.3	70.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	63.1	59.9	63.9
B 書くこと	3	71.3	64.2	67.4
C 読むこと	3	55.6	56.3	59.7

国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



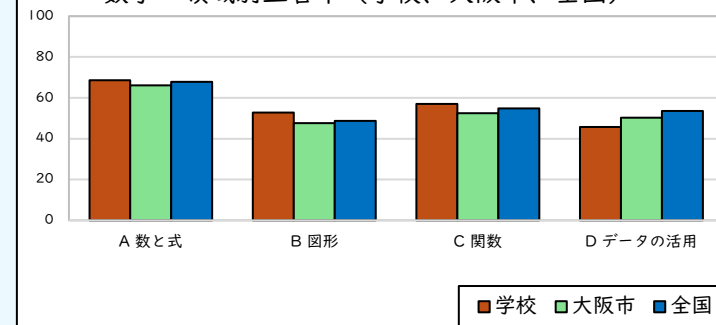
国語
内容別正答率
（対全国比）



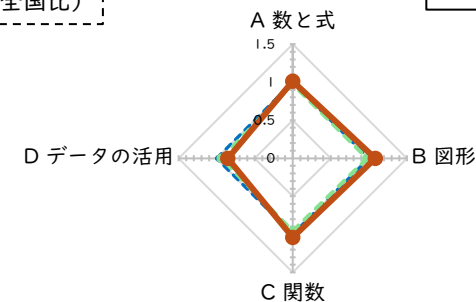
【数学】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	68.6	66.1	67.8
B 図形	4	52.8	47.6	48.7
C 関数	3	57.0	52.5	54.8
D データの活用	4	45.7	50.2	53.5

数学 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



数学
領域別正答率
（対全国比）



令和8年度 全国学力・学習状況調査【3年生】 教科に関する調査結果の概要（英語）

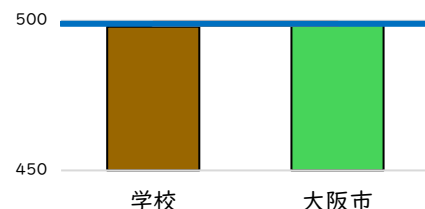
英語 平均IRTスコア

学校	498 (495)
大阪市	499 (499)
全国	499 (499)

※ 4技能の平均IRTスコアです

※ () 内は3技能の平均IRTスコアです

平均IRTスコア 英語 4技能

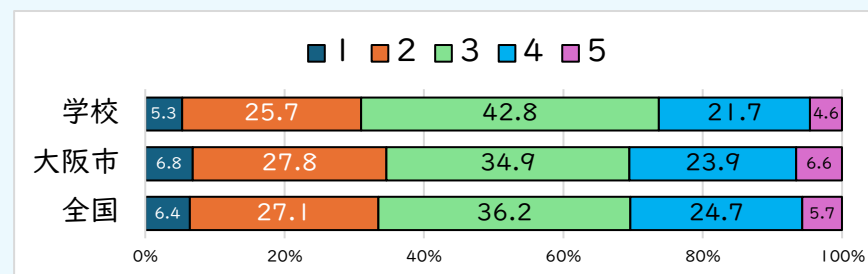


IRTバンド分布比較（4技能）

	1	2	3	4	5
学校	5.3	25.7	42.8	21.7	4.6
大阪市	6.8	27.8	34.9	23.9	6.6
全国	6.4	27.1	36.2	24.7	5.7

※ 4技能のIRTバンド分布です

IRTバンド分布比較（4技能）



【IRT(Item Response Theory：項目反応理論）とは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

【IRTスコアとは】

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

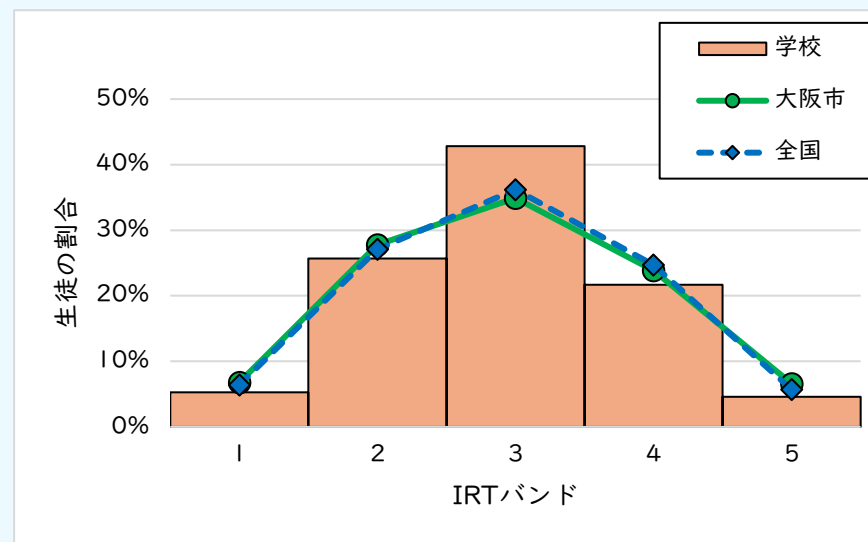
導入する年（中学校英語は令和8年度）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

【IRTバンドとは】

IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題にしていると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

IRTバンド分布グラフ（4技能）



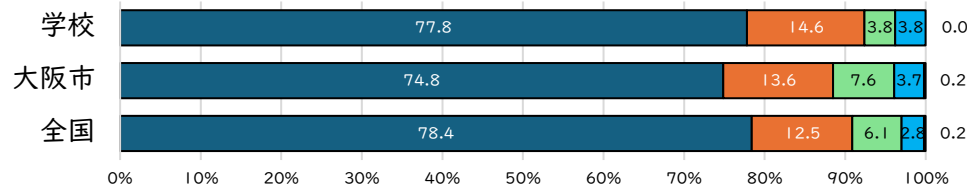
生徒質問調査【3年生】より（1）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

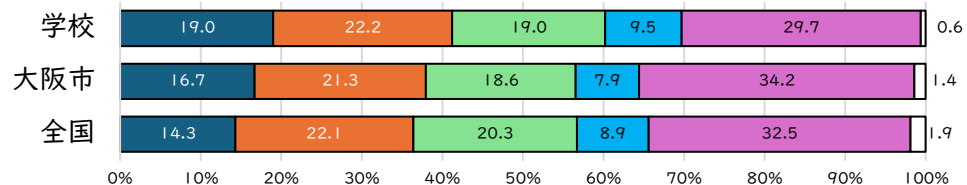
質問番号 質問事項

（1） 朝食を毎日食べていますか



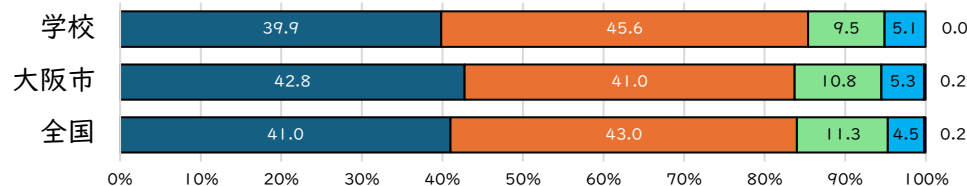
1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

（7） 学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか



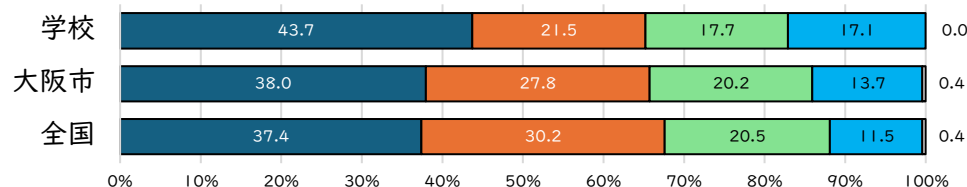
1 ほぼ毎日
2 週に1～2回
3 月に1～2回
4 年に1～2回
5 ほとんど、または、全くない

（8） 自分には、よいところがあると思いますか



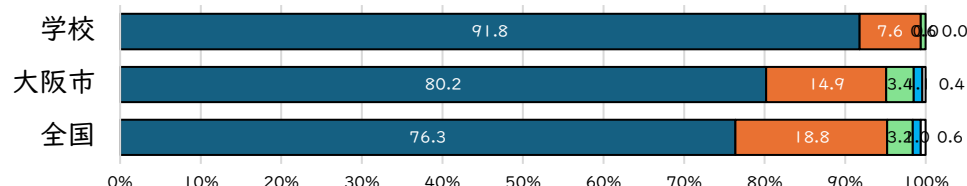
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

（10） 将来の夢や目標を持っていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

（12） いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

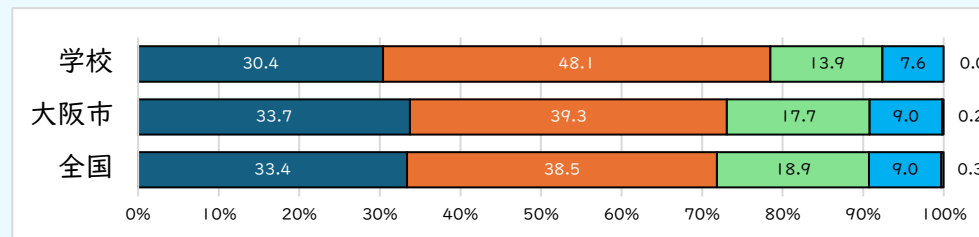
生徒質問調査【3年生】より（2）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

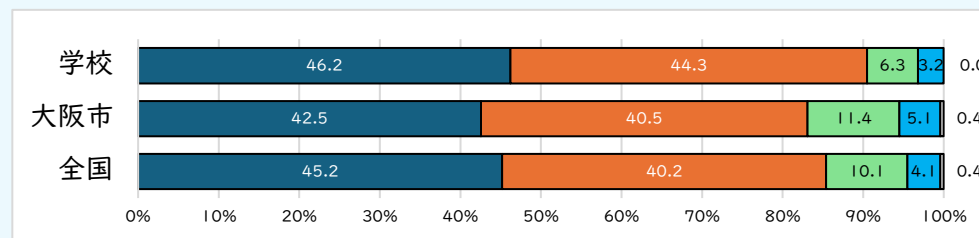
質問番号 質問事項

(13)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
------	-------------------------------------



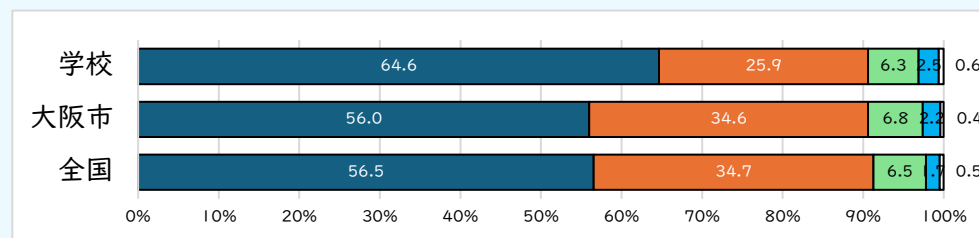
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか
------	------------------



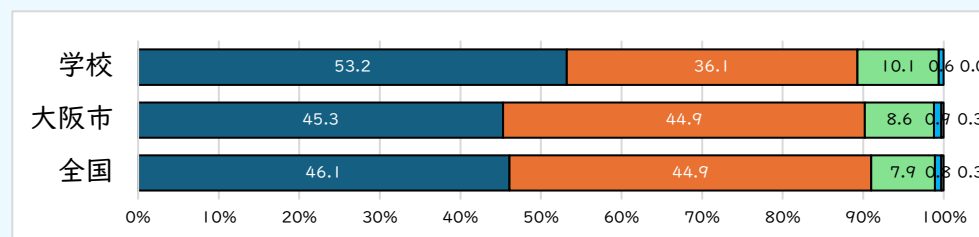
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(17)	友達関係に満足していますか
------	---------------



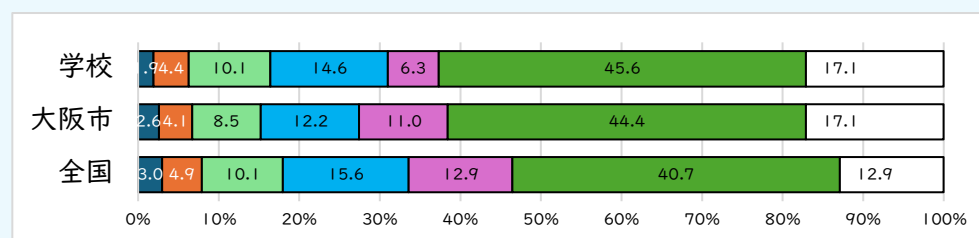
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(21)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
------	---------------------------------



- 1 よくある
- 2 ときどきある
- 3 あまりない
- 4 全くない

(26)	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
------	--



- 1 2時間以上
- 2 1時間以上、2時間より少ない
- 3 30分以上、1時間より少ない
- 4 10分以上、30分より少ない
- 5 10分より少ない
- 6 全くしない

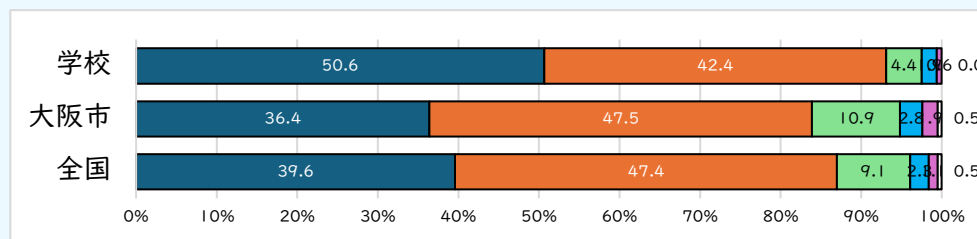
生徒質問調査【3年生】より（3）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

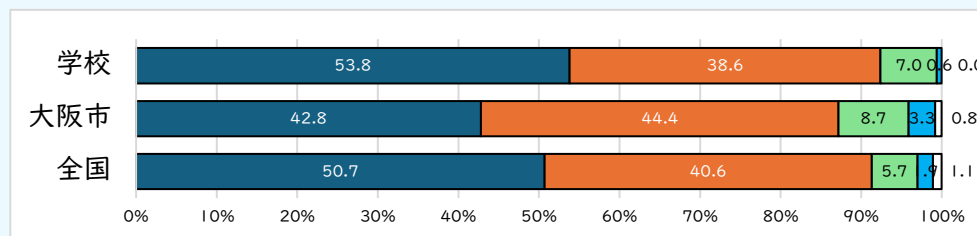
質問番号 質問事項

(4 2) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



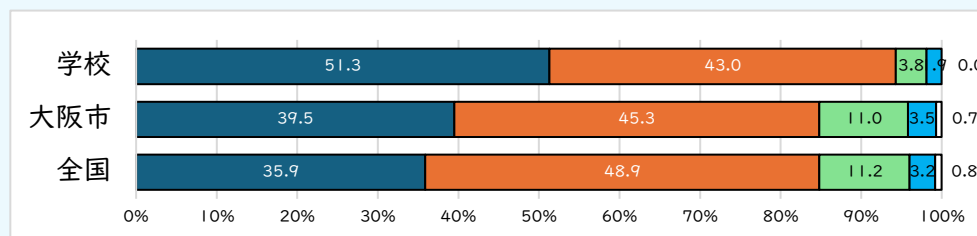
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の生徒との間で話し合う活動を行って

(5 1) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



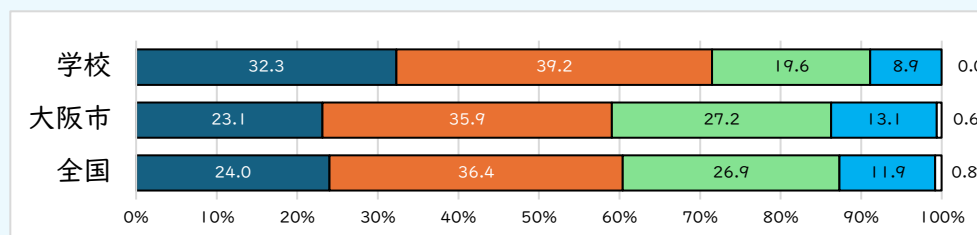
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(5 8) 1、2年生のときに受けた授業では、国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか



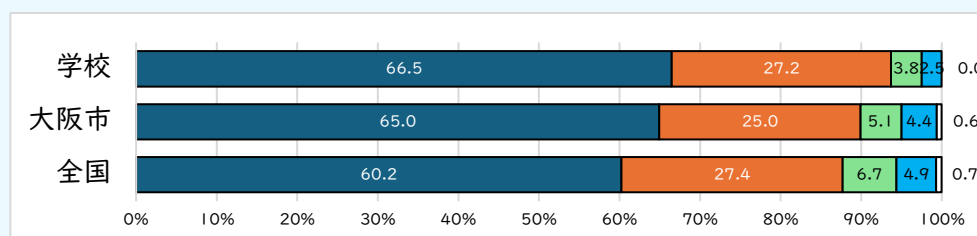
1 している
2 どちらかといえば、している
3 どちらかといえば、していない
4 していない

(6 6) 1、2年生のときに受けた授業では、数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(7 2) 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

学校質問調査【3年生】より（1）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

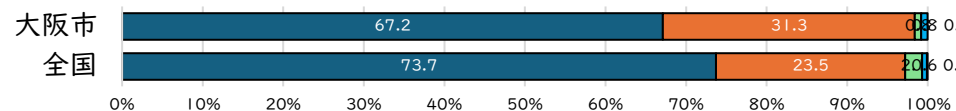
質問番号

質問事項

（13）

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 1 そう思う

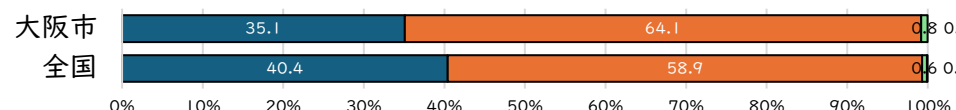


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

（16）

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 1 十分に取り入れている

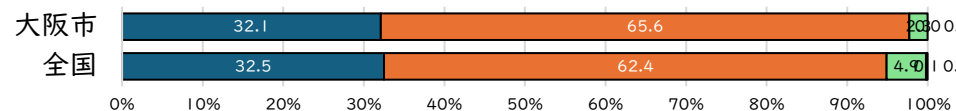


- 1 十分に取り入れている
- 2 一部取り入れている
- 3 全く取り入っていない

（29）

調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

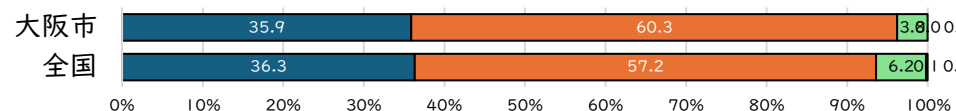


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

（41）

調査対象学年の生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、している

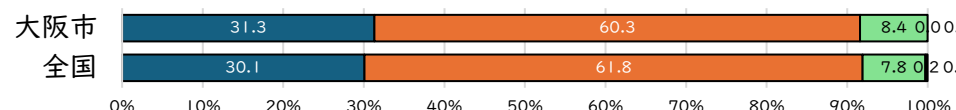


- 1 よくしている
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

（42）

調査対象学年の生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の生徒が意思決定できるような指導を行っていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、している



- 1 よくしている
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

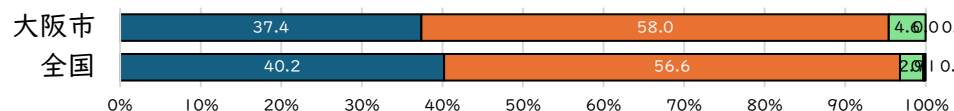
学校質問調査【3年生】より（2）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号 質問事項

(45) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の授業で、学習状況に即して生徒のよい点や進歩の状況を積極的に伝えることを行いましたか

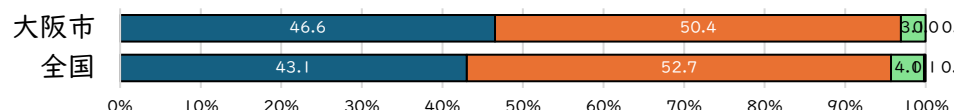
【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(52) 調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまづいた生徒に対する対応を行っていましたか

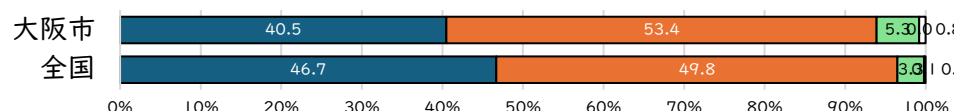
【学校の回答】 2 どちらかといえば、行えた



1 よく行えた
2 どちらかといえば、行えた
3 あまり行えなかった
4 全く行えなかった

(56) 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点を捉える活動を行いましたか

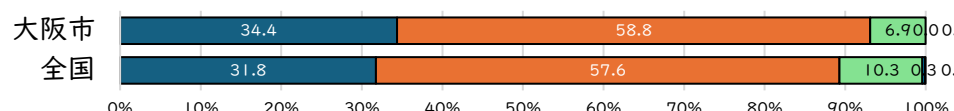
【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(66) 生徒が学びを深めるための指導改善に向けた取組として、教員がコンピュータなどのICT機器の効果的な使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

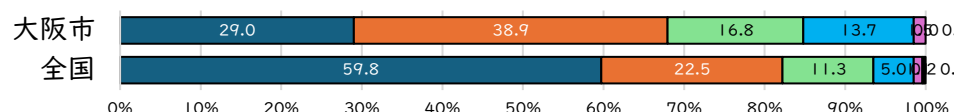
【学校の回答】 1 当てはまる



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(68) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

【学校の回答】 1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）



1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
3 週3回以上
4 週1回以上
5 月1回以上
6 月1回未満